

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		ワラハンドクラブ・キキ		公表日		2026年1月29日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	1	利用人数に応じて、活動スペースを時間で分けて使用している。	複数で遊ぶスペースが狭いと感じることがあるため、場所の確保を検討していく。 相談室を作業スペースと個別活動に使用しているため、使用できる時間が制限されてしまう。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		配置数は満たしているが、学校送迎時に事業所内の職員が足りないと感じることがある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	基本的な構造化と、個別に対応した構造化を実施している。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	掃除場所のチェックリストがあり、毎日確認しながら行っている。	運動の際はスペースが狭いと感じる時があるため、運動項目や人数の調整が必要。 クールダウンとして使用できる場所が少な		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	優先順位をつけ、急遽な場合は活動の変更をしながら対応している。	スペースが限られているため、使用したいときに使えないことがある。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎朝、申し送りがあり情報交換している。			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	年に一度、評価を実施し、職員で集計結果を討議しながら改善している。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	申し送りやキキ会議の他、毎月チーフ面談を行い、聞き取りを行っている。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		当法人では行っていない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	内部研修や外部研修に参加している。			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	ホームページで公表され、職員・保護者に周知している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	日々のアセスメントと、保護者様からの意見や情報を踏まえて個別支援計画を作成している。			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員間で毎日情報共有し、会議を開催しながら個別支援計画を作成している。			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	職員全員に周知する会議を設け、毎日の申し送りで情報共有しながら個別支援計画を実施している。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	新規利用時にPEP-3から必要な項目を実施している。また、日常的にインフォーマルアセスメントを行っている。			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	お子様や保護者からの意見や情報をもとに目標を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	ベースを児童発達支援管理責任者が考え、職員の意見を交えながら決めている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	行事や集団活動、個別活動は毎回担当を変え、立案、実施している。その他の活動は達成時期を見ながらステップアップするよう、都度検討し進めている。			

176	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	5領域に沿って計画・実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	毎朝、申し送りを行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	利用の際の課題等を、翌朝に申し送りで検討している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	各エリア担当者が日誌に記録し、翌朝の申し送りで課題と対応策等を共有・検討している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	毎日の申し送りで利用時の様子を確認し、必要に応じて個別支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	7	0	ガイドラインに沿って支援を行っている。	職員全員でガイドラインを熟読するよう努める。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	あらゆる場面で自分で考え決められるよう促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	保護者からの依頼があれば受診同行や学校とのケア会議、他の放デイと情報共有している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	必要に応じて情報共有、ケア会議開催している。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	3	相談支援事業所から情報提供を受けている。	新規利用前に情報共有に努めていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	3	相談支援を通して情報提供されている。	放デイで支援し達成された項目が、場所が変わってもスムーズにできるよう情報提供していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	4	必要に応じて連携していく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	行事等で地域資源を活用する際に、地域の子どもたちとの交流を続けたい。	地域の小学校に通学しているお子様や、児童センターと併用利用されているお子様もいるため、必要に応じて検討していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	利用の際に連絡帳に記載したり、送迎時に情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	保護者様と情報共有しながら対応策などを検討している。	ご家族が参加できる研修の情報提供していく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明するか、改定になった時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	定期的に面談を開催し意思確認を行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	利用者全員に個別支援計画の説明を行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	連絡帳等で困りごとや悩み事を確認し、面談等を行っている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7		法人の父母の会に入会がないため、必要に応じて希望があれば保護者同士の交流の場を検討したい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	広報誌でホームページでアナウンスしている。	苦情があれば適切に対応するよう努めたい。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	キキの広報誌「だいすき」やホームページに活動の概要や様子、支援プログラムや自己評価結果を発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報同意書にて同意内容を整理し、広報誌等は担当とチーフマネージャーがダブルチェックをして個人情報が流失しないよう努めている。	課題があった際は、検討し再発防止に努めていきたい。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	個々の特性や保護者の環境に配慮し工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	3	地域の施設などにお子様と訪問し、感謝状を持参し交流する機会を設けている。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	緊急時対応マニュアルは毎年見直し、修正があればお知らせしている。火災、地震、洪水、不審者対応等の訓練を実施している。	全部の避難訓練に登録利用者全員が毎回参加することができないため、曜日を確認しながら参加できるよう調整していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	定期的に訓練を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	1	契約時に保険調査を行い確認している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	現在、対象者がいない。 契約時に確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	安全計画を確認しながら、必要な訓練を実施している。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	面談時に説明し、書面を配布している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットを回覧し、キキ会議で周知、確認している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	職員全員が研修を受講している。また、月に1度、チーフマネージャーと面談する時間を設けている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	法人に身体拘束適正化委員会があり、規定を作成・共有している。	現在は対象者がいないが、今後対象になるお子様がいた場合は、規定に沿って対応していく。	